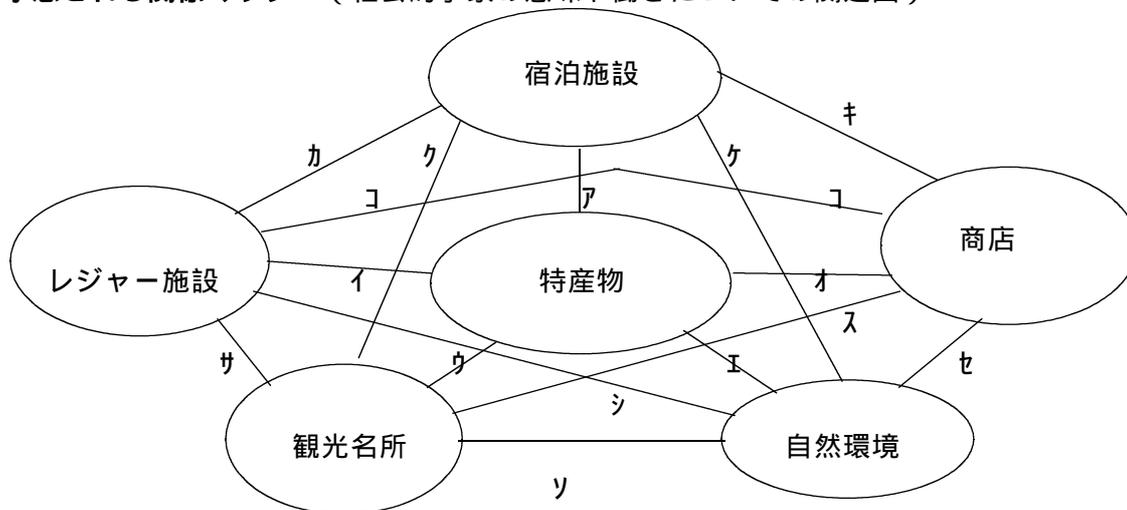


資料編

1. 予想される関係マップ (社会的事象の意味や働きについての関連図)



| 記号 | 関連付く社会的事象 | 関連付く理由 |
|----|-------------|--|
| ア | 特産物と宿泊施設 | 特産物がここの料理で使われたり売られたりしている。 |
| イ | 特産物とレジャー施設 | 特産物を生産する人の中には冬ここで働く人もいる。 |
| ウ | 特産物と観光名所 | ここを訪れた観光客が特産物を購入していく。 |
| エ | 特産物と自然環境 | ここから広がる高原で涼しいので、夏、特産物を生産することができる。 |
| オ | 特産物と商店 | 特産物や、特産物をかたどった土産が商店で売られている。 |
| カ | 宿泊施設とレジャー施設 | レジャー施設にきた人がここに宿泊する。 |
| キ | 宿泊施設と商店 | ここに宿泊した人が商店で土産などを買う。 |
| ク | 宿泊施設と観光名所 | 宿泊施設はこれをサービスの一つとして提供している。 |
| ケ | 宿泊施設と自然環境 | 自然環境を訪れた人がここに宿泊する。 |
| コ | レジャー施設と商店 | レジャー施設に来た人が商店で土産などを買う。 |
| サ | レジャー施設と観光名所 | レジャー施設と観光名所が隣接しているところもあり、同時に楽しむことができる。 |
| シ | レジャー施設と自然環境 | 自然環境の斜面を利用してレジャー施設が開かれている。 |
| ス | 商店と観光名所 | 観光名所を訪れた人が商店で土産などを買う。 |
| セ | 商店と自然環境 | 自然環境を訪れた人が商店で土産などを買う。 |
| ソ | 観光名所と自然環境 | 活火山である自然環境のおかげで観光名所が湧出している。 |

2. 指導と評価の計画 (全12時間予定)

| 過程 | 時間 | 主な学習活動・内容 | 形態 | 支援及び指導上の留意点 | 評価項目(評価方法) |
|----|----|--|----------|--|--|
| つか | 1 | ・写真資料や地図、ビデオを基に、嬭恋村はどんなところなのかおおまかな様子を知る。 (地形、さかなこと、観光地など) | 一斉 | ・嬭恋村の地形図、土地利用図、ビデオなどをもとに、嬭恋村への関心を高めるとともに、主な社会的事象をとらえられるようにする。 | 資料を基に、嬭恋村の概要が分かる。 (知：発表、学習プリント) |
| | 2 | ・嬭恋村の事象同士の関連を予想して関係マップに表す。 ・事象ごとに何と結びつけたかとその理由を発表し、関係がある理由について話し合う。 | 個人 一斉 | ・嬭恋村の事象の中から関係があると思われるものを線で結び、理由を横に書いていく。 ・結びつけた理由をもとに、自分の予想の見直しをさせ、 | 嬭恋村の事象同士の関連を予想して関係マップに表すことができる。 (思：関係マップ、 |

| | | | | | |
|--------|-------------------|---|------------------|--|--|
| む | | ・関連の修正や付け直しをする。 | | 自分なりに事象の関連を関係マップに表させるようにする。 ・付け足した関連については、違う色（緑）でマップに書き込ませるようにする。 | 話し合い) |
| | 3 | ・自分が調べる学習課題を考える。 ・調べる視点を考える。 ・調べる方法を考える。 (パンフレット、インターネット、電話やFAXによる問い合わせなど) | 個人 | ・関係マップを書いてみて、何と関係があるか、特に調べてみたいと思った事象を学習課題とさせるようにする。 ・嬭恋村の写真やパンフレットを提示して、自分が調べたい課題を選べるようにする。 ・自分が選んだ課題について何を具体的に調べるか視点を考えさせる。 | 自分が調べる学習課題を決め、調べる計画を立てることができる。 (思：学習プリント) |
| 追 究 | 4 5 | ・自分の学習課題について調べる。 ＜予想される学習課題＞ 嬭恋村でキャベツづくりがさかんな理由、キャベツ農家の1年、生産量が増えているわけ、困っていることとその対策、万座などの温泉、ホテル・旅館浅間山、鎌原観音堂、鬼押し出し、スキー場、商店(土産店、農産物直売所)、学校生活など | 個人 又は グループ | ・グループまたは個人で自分たちに合った方法で調べさせるようにする。 ・教師も資料を用意しておき、必要に応じて提示する。 ・早く調べ終わった児童には他の課題も調べてみるように促す。 | 自分の学習課題について調べることができる。 (技：観察、発表資料) 自分の学習課題について進んで調べようとしている。 (関：観察) |
| | 6 | ・調べたことを発表できるような資料にまとめる。 ・分かった事実とそれに対する自分の考えは必ず書く。 | グループ | ・学習課題、視点、自分の考えなどの項目は目立つようにさせ、見て分かる資料となるようにする。 ・指導時数との関係から四つ切り画用紙1枚にまとめさせるようにする。 | 調べたことを発表できるような資料にまとめることができる。(技：発表資料) |
| す る | 7 | ・関連が深い課題を調べた者同士で調べたことを交流し合う。(ポスターセッション) 浅間山、スキー場、万座温泉、ホテル キャベツ作り 鬼押し出し、鎌原観音堂 農産物直売所、土産店 ・発表を聞きながら友達の調べた事実との共通点や関係がある点を学習プリントに書き込む。 | グループ 個人 | ・関連が深い課題を調べた者同士でグループ(～)となり、調べたことを発表し合い、関連に気が付きやすいようにする。 ・聞きながら、発表を聞いて分かったことや自分の調べた事実との共通点や関係がある点を学習プリントに書き込ませる。 | 友達の発表を聞いて、嬭恋村の別の特色が分かる。 (知：学習プリント) |
| | 8 見 通 し | ・自分が調べた事実と友達が調べた事実(関連が深い課題)との関連を関係マップに表す。 ・関連が深い課題を調べた者同士で、結びつけた理由を話し合う。 | 個人 グループ | ・自分が調べた事実と友達が調べた事実との関連を考えて関係マップに表す。 ・「話し合いの進め方」を提示し、話し合いが深まるようにする。 | 自分が調べた事実と友達が調べた事実との関連を関係マップに表すことができる。 (思：関係マップ、話し合い) |
| 深 め | 9 | ・異なる課題を調べた者同士で調べたことを交流し合う。(ポスターセッション) ・発表を聞きながら友達の調べた事実との共通点や関係がある点を学習プリントに書き込む。 | グループ 個人 | ・異なる課題を調べた者同士でグループに分かれ、調べたことを発表し合う。 ・友達が調べた事実との様々な関連に気付くように、共通点や関係がある点を考えながら発表を聞かせる。 | 自分が調べた事実と友達が調べた事実との共通点や関係がある点に気付く。 (思：発表、学習プリント) |
| | 10 見 通 し | ・自分と異なる課題の友達が調べた事実の関連を考えて関係マップに表す。 ・結びつけた理由をクラス全体で話し合う。 どの事実とどんな理由で関係があるか発表する。 確かに関係があるか。 | 個人 一斉 | ・関係マップに付け足していく形で書き、違いが分かるように結ぶ線の種類は変えて書く。(＝で書く) ・多くの児童に発言を促し、多様な関連があることに気付かせたい。 ・友達の意見を聞いて気付い | 調べた事実の関連を関係マップに表し、事象同士の様々な関連に気付く。 (思：関係マップ、話し合い) |

| | | | | | |
|---|----------|---|----|--|---------------------------------|
| る | | 関係がある理由はこれでもいいか。 他にも関係がある理由はあるか。 ・関係マップを書いて気付いたことや考えたことを書く。 | 個人 | た関連については、違う色(赤)で修正をしたり付け足しをさせたりする。 ・こういう関連もあったのかという感想やマップを見て気付いたことを書かせるようにする。 | |
| | 11 12 | ・孀恋村のよさや特色をPRする孀恋村新聞をつくる。 | 個人 | ・孀恋村の人々のくらしについて分かったことや考えたことを中心にまとめさせる。 | 意欲的に新聞にまとめようとしている。 (関：観察、作品) |

3. 本時の展開

第2時 見通し1

(1) ねらい

孀恋村の社会的事象の関連を予想して関係マップに表すことができる。

(2) 展開

| 学習活動 | 支援及び指導上の留意点 | 時間 | 評価項目 |
|---|--|----|---|
| 1. 関係マップの書き方を知る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・前時に児童からでた万座温泉とスキー場などは一緒になっているなどの意見を取り上げ、本時は、孀恋村のいろいろな所の中で関係がありそうなものを見つけ、地図のようなものを書いていくことを告げる。 ・孀恋村にはどんな特色があったか、どんなところがあったか思い出させ、黒板に主な社会的事象の写真や事象名を掲示する。 ・関係マップとは、あるもの(事象)が、他のもの(事象)と関係があったら、線で結び、その線の横に関係のある理由を書いていくものであることを説明する。 ・関係について例(浅間山と鬼押し出しが関係がある理由)を示して説明し、児童が事象同士の関連を考えやすいようにする。 ・関係マップを書くのは初めてなので、作業が進めやすいように、キャベツ作りを中心に書き、まわりに関係がありそうなものをかいていくようにする。 | 7 | |
| 2. 各自で関係マップを書く。 ・主な社会的事象 キャベツ作り、山地 万座温泉、浅間山、 鬼押し出し、鎌原観音堂、 白根山、スキー場、 旅館・ホテル、 商店(土産店、農産物直売所) 学校生活など | <ul style="list-style-type: none"> ・各自でキャベツ作りと関係があると思われるもの(事象)を黒板にはってある事象の中から選んで周りに書き、関係があると思う理由を線の横に書き込んでいく。 ・主に自分の生活やこれまでの経験を思い出させて、事象同士の関連を考えさせていく。 ・周りに書いたもの(事象)の間にも関係が考えられたら線で結び、関係する理由を書くようにさせる。 ・関係を考えられない児童にはこれとこれは関係がないかななどと助言をし、関係をいくつか考えられるようにする。 | 23 | 〔関〕孀恋村の社会的事象の関連を考えて関係マップに表そうとしている。 (観察・関係マップ) |
| 3. どのような関係マップを書いたか全体で話し合う。 キャベツ作りとの関連 その他の事象の関連 発表を聞きながら関連のつけ足しや修正をする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・キャベツ作りと何を線で結んだか、またなぜ結びつけたか意見を発表させる。 ・一つ一つの関係について関連があるかどうか、また関連があるのはなぜか検討していく。 ・同じ関係であっても、結びつける理由が異なる場合は、発表するようにさせ、いろいろな考えにふれさせるようにしたい。 ・キャベツ作りの周りに書いたもの(事象)同士をどのように線で結んだか、またなぜ結びつけたか発表させる。 ・児童の発表をもとに、黒板に予想した関連をマ | 15 | 〔思〕孀恋村の社会的事象の関連を予想して関係マップに表すことができる。 (関係マップ、話し合い) |

| | | | |
|--|---|--|--|
| | <p>ップの形にして書いていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結びつけた理由をもとに、自分の予想の見直しをさせ、自分なりに事象の関連をマップに表させるようにする。 ・話し合いによって付け足した関連については、違う色（緑色）でマップに書き込ませる。 | | |
|--|---|--|--|

第8時 見通し2

(1) ねらい

孺恋村の社会的事象の関連（自分の学習課題と関連が深い学習課題との関連）を考えて関係マップに表し、孺恋村の人々の生活の関連がある理由に気付くことができる。

(2) 展開

| 学習活動 | 支援及び指導上の留意点 | 時間 | 評価項目 |
|---|---|----|--|
| 1. 本時の関係マップの書き方について確認をする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・本時は、同じグループの発表をし合った人の調べたことの中で、関係があるものを考えて関係マップを書くことを告げる。 ・中心に自分の学習課題を書き、周りに関係がある学習課題を書いて、線で結び、線の横に結びつく理由を書いていく。 | 5 | |
| 2. 各自で関係マップを書く。 | <ul style="list-style-type: none"> ・各自で自分の学習課題と関係がある学習課題を同じグループの人の学習課題の中から選んで周りで囲んで書き、関係がある理由を線の横に書き込んでいく。 ・前時に発表を聞いてまとめた学習プリントの「似ているところ」「関係があるところ」の欄を必要に応じて見るようにさせ、どの学習課題とどんな理由で関係があるか考えられるようにする。 ・関係を考えられない児童には自分の学習課題と関係がある学習課題の例やその理由を示して、関係を考えるヒントとなるようにする。 ・前時の発表資料を掲示しておき、必要に応じて見られるようにして、関係をより多く考えられるようにする。 | 20 | <p>〔関〕孺恋村の事象同士の関連を考えようとしている。（観察、関係マップ）</p> <p>〔思〕自分が調べた事実と友達が調べた事実との関連を関係マップに表すことができる。（関係マップ、話し合い）</p> |
| 3. 同じグループの児童で表した関係マップについて話し合う。 以下の3つのグループで話し合う。 キャベツ作りがさかな理由、キャベツ農家の1年、生産量が増えている理由、困っていることとその対策 ホテル・旅館、スキー場、万座温泉、浅間山土産店、農産物直売所、鬼押し出し、鎌原観音堂 | <ul style="list-style-type: none"> ・同じグループで発表し合った児童でグループになり、どの学習課題と結びつくか、なぜ結びつくか話し合う。 ・司会者を決めておき、話し合いの進め方を提示し、話し合いが円滑に進められるようにする。 ・関連が深い学習課題の児童で話し合うことで、孺恋村の社会的事象の関連づく理由に気付かせたい。 ・少人数で話し合うので、できるだけ多くの児童にいろいろな考えを発表させることで、自分の学習課題がいくつもの学習課題と関連があることや関連がある理由に気付かせるようにする。 ・関連にあまり気付かないグループには「この課題とは関係がないかな」などと助言したり発表資料の着目すべき点を示したりして、どの学習課題もいくつもの学習課題と関連があることに気付かせたい。 ・自分が気が付かなかった関連については、違う色（青）で書き込ませ、話し合いによって関連が増えていることをとらえられるようにする。 ・話し合った結果を四つ切りの画用紙に書かせ、次時に他の学習課題との関連を考えるヒントとなるようにする。 | 20 | |

話合いの進め方
 司会：何と何が関係があるか言ってください。
 発表者A： と が関係があると思います。なぜなら～だからです
 司会：この考えについてどう思いますか。
 B：ぼく（わたし）も同じ考えです。
 C：関係があるのはいいと思うけど、理由は～だからだと思います
 D： と は～なので、関係はないと思います。
 司会：他に関係があるものを言ってください。
 （以下同じように進める）

第10時 **見通し3**

(1) ねらい

孺恋村の社会的事象の関連(自分と異なる学習課題との関連)を考えて関係マップに表し、様々な関連に気づき、孺恋村の社会的事象を複数の観点からとらえることができる。

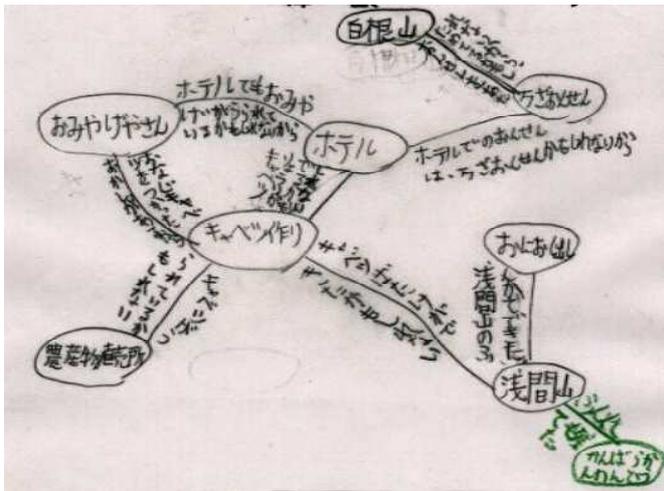
(2) 展開

| 学習活動 | 支援及び指導上の留意点 | 時間 | 評価項目 |
|---|---|----|---|
| 1. 本時の関係マップの書き方を確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・本時は今回のすべての学習課題の関連を考えて関係マップに表すことを告げる。 ・前時に書いたマップにつけたす形で書く。前時に書いた学習課題の周りに関連がある学習課題を書き、違う線(=)で結んで、線の横に関係がある理由を書いていく。 ・前時に学習課題ごとに集まって作成した関係マップを参考にして、関連を考えてもよい。 | 5 | |
| 2. 各自で関係マップを書く。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の学習課題と友達が調べた学習課題、あるいは友達の学習課題同士の関連を考えて関係マップに書いていく。 ・友達が調べた学習課題にはどんなものがあったか思い出せるように、すべての学習課題と写真を黒板に掲示しておく。 ・前時との違いや関連が増えていることを実感できるように、前時とは違う線(=)で結んでいくようにさせる。 ・関係が考えられない児童には、前時に作成した他のグループの関係マップや他のグループが調べてまとめた資料を見させ、関連を考えるヒントとなるようにする。 ・できるだけ多くの関連を考えることができるように、前時に他のグループが考えた関係マップも見させるようにする。 | 15 | |
| 3. 書いた関係マップについて全体で話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・どの事実とどんな理由で関係があるか。 ・確かに関係があるか。 ・関係がある理由はこれでもいいか。 ・他にも関係がある理由はあるか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・孺恋村の社会的事象の関連が理解できるように、一つ一つの学習課題について、どの学習課題と関連があり、それはどんな理由によるか発表させていく。 ・発表された関連とその理由について、全体で検討し、関連する理由を複数の立場から考えられるようにする。 ・多くの児童に発言を促し、多種多様な関連があることに気付かせたい。 ・意見が出ない場合には、前時に書いた関係マップをもとに、学習課題ごとに指名をして、話し合った結果を発表させていく。 ・同じ関連でも関連づける理由が違う場合には発表させ、同じ関連でも理由はいくつかあることに気付かせる。 ・自分が気が付かなかった関連については、違う色(赤)で書き込ませるようにし、話し合いによって関連がさらに増えていくことを実感できるようにする。 | 20 | 〔思〕孺恋村の社会的事象の関連を考えて関係マップに表すことができる。 (関係マップ・話合い) |

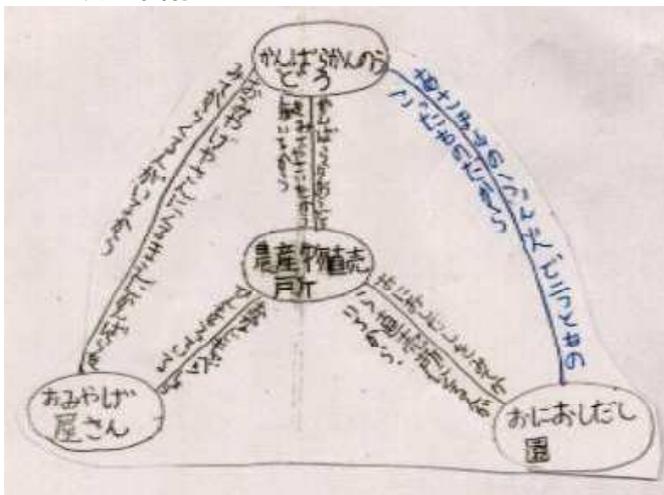
| | | |
|---|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・教師も児童の発表をもとに、黒板に関係マップを書いていき、話合いの様子を児童が理解したり多様な関連に気付いたりできるようにする。 ・一見関係がなさそうだが、関係がある事象として、「キャベツ農家とスキー場」(キャベツ農家の人の多くは畑が使えない冬はスキー場で働く)「キャベツ農家と土産店」(土産店でキャベツに関係したみやげが売られている)などの関係に気付かせたい。 | |
| <p>4. 関係マップを書いて、気付いたことや考えたことを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ は と関係がないと思っていたけれど、～という点で関係があった。 ・ 予想の時よりも関係がすごく増えている。 ・ 孺恋村の人々のくらしはいろいろ関係しあっているんだ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ こういう関連もあったのかという感想やマップを書いてみたり、完成したマップを見たりして気付いたことや考えたことを書かせる。 ・ 関係マップ と比べて気付いたことを書いてもよい。 ・ 何人かの児童に発表させ、孺恋村のそれぞれの社会的事象は、お互いに関連しあって成り立っていることや意味や働きの上で多様な関連があることに気付かせたい。 | <p>5</p> <p>〔思〕孺恋村の事象同士に様々な関連があることに気付く。 (学習プリント)</p> |

4. 児童の書いた関係マップ

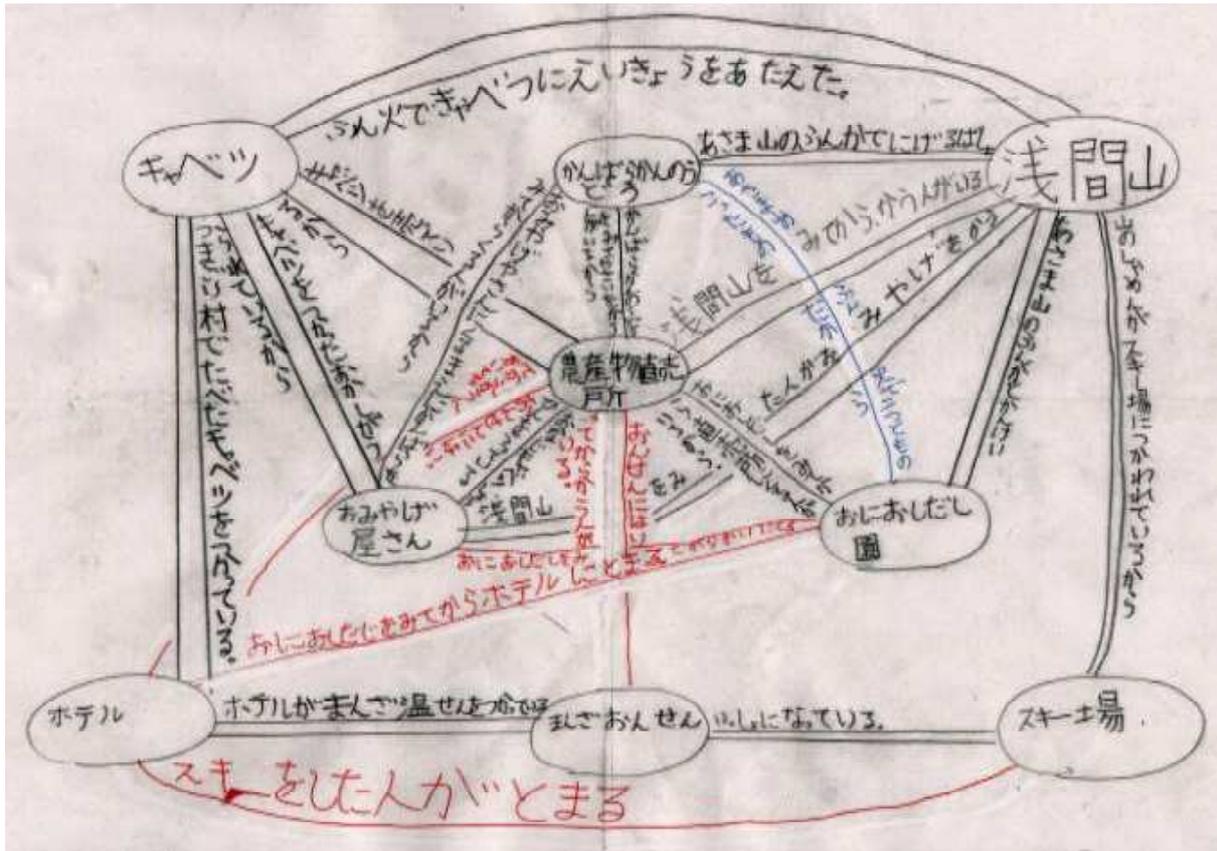
A男の関係マップ



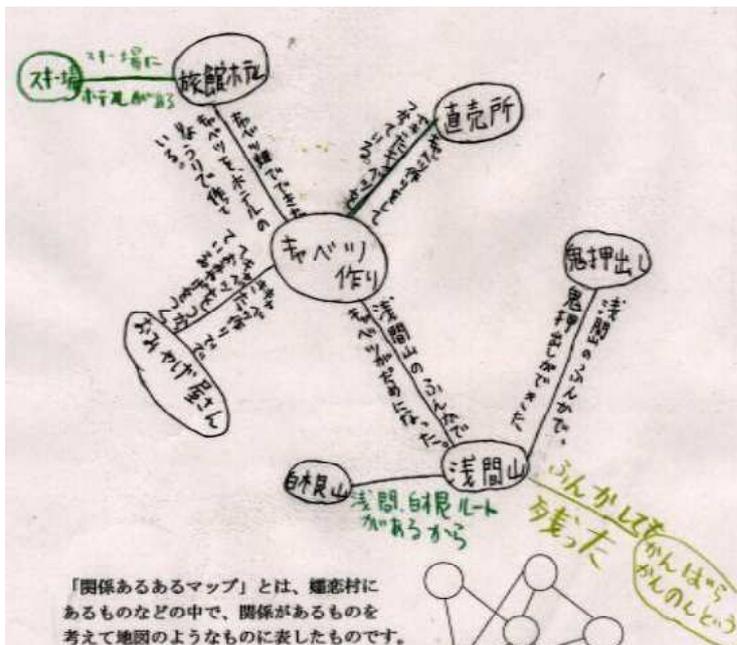
A男の関係マップ



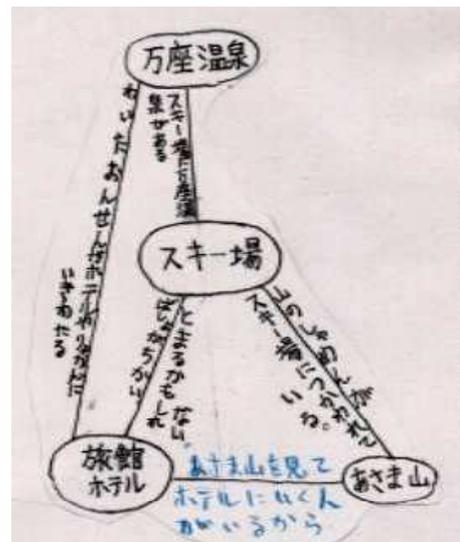
A男の関係マップ



B子(男)の関係マップ



B子(女)の関係マップ



B子の関係マップ

